

ボランテュア情報誌

おいらせ町ボランテュアセンターだより

みんなの顔を見ると元気になる
三密に気を付け、ペタンクで交流
(三本木地区・いきいきサロン)

第32号 令和3年3月26日発行

編集・発行 社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会

〒039-2222 おいらせ町下前田158-1 TEL 0178-52-7066

東日本大震災被災地支援の報告

～ 岩手県 野田村 ～



10年がたちました。

平成23年5月12日～17日の6日間、青森県社会福祉協議会の支援要請を受け、岩手県野田村へ本会職員(主任主査/館)が災害ボランティアセンターへ派遣されました。
 主な支援活動の内容は、県内外から来る個人や団体ボランティアのコーディネート(受付・マッチング・派遣など)や土のう袋の配布や補充、仮設住宅への入居作業などでした。



①野田村の社協事務所は津波で流されたため、プレハブで対応。活動先へは自転車などが活躍
 ②津波で被災した野田村の様子 ③たくさんの支援物資が保管されている体育館。物資を仕訳するボランティアも活躍していました ④受付をするボランティア ⑤被災者へのお知らせ ⑥流された後に見つかった写真などを保管している部屋 ⑦野田村役場前 ⑧久慈市山形町の婦人会による炊出し ⑨野田中学校グラウンドへ建設された応急仮設住宅 ⑩仮設住宅への入居作業を手伝うボランティア ⑪瓦礫などを撤去するボランティア ⑫神奈川県からの炊出しボランティア ⑬日々変化するボランティアの活動とニーズの状況

①

東日本大震災 岩手県 陸前高田市 被災地支援の報告

10月30日～11月6日の7日間、青森県社会福祉協議会の支援要請を受け、岩手県陸前高田市へ本会職員(真石)が災害ボランティアセンターへ派遣されました。
 主な支援活動は、連日全国から来る80名～300名のボランティアのコーディネート(受付・派遣・オリエンテーションなど)や津波で流された記録等を PC へ入力する作業でした…。



②

⑥



⑦



⑧



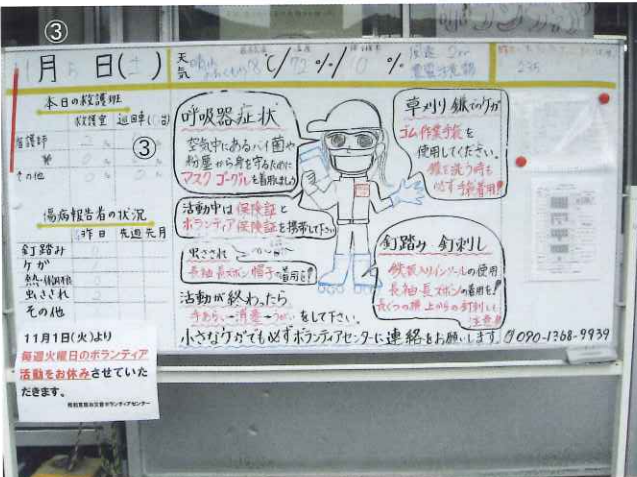
⑨



～高田松原 奇跡の一本松～

岩手県陸前高田市の高田松原に2キロにわたって7万本の松が植えられていました。
 夏は多くの観光客を迎え、地域住民の安らぎの場となっていた松林。しかし、平成23年3月11日大津波に飲まれ、たった一本に…
 高さ30メートル、樹齢250年を超える老松は「奇跡の一本松」と呼ばれています。
 現在は、海水によりすでに根が腐りはじめ保存活動を中止、立ち枯れを待つ状態となっています。

③



④



⑤



- ①陸前高田市(高田松原)の一本松
- ②今回の支援活動に派遣された職員
- ③ボランティアへのお知らせボード
- ④川の水を利用した手洗い場
- ⑤貸出用の長靴や鎌など
- ⑥津波で被災した市役所
- ⑦私有地に許可を得て建てられた仮設災害ボランティアセンター
- ⑧ボランティア活動受付の様子
- ⑨スコップや長靴・ねこ車等の資材を借用する際の受付

ボランティア情報誌No.24 (H29.3.30発行)より抜粋

災害は地震だけじゃない！

岩手県岩泉町への
被災地支援レポート

おいらせ町社会福祉協議会
福祉活動専門員
館 幸仁

平成28年の台風10号によって多大な被害にあった岩手県岩泉町に、青森県社会福祉協議会被災地支援派遣クール応援職員として参加しました。被災からちょうど一ヶ月が経った頃でしたが、川の氾濫による被害の跡が生々しく残っている状態で、被災者の心理的ケアを含めた復興にはかなりの時間がかかりそうだと感じました。活動は、小本地区の災害ボランティアセンターで、主に一関市社協職員・遠野市社協職員とボランティアのマッチングや現場ニーズ調査などを行いました。野田村で体験した被災地支援とは違う「災害ボランティアセンター」の運営方法を感じながらの活動は、私にとって意義あるものでした。

- 被災地での活動日
平成28年9月29日～10月3日まで
- 派遣5クールメンバー
青森県社協 高橋 (岩泉町本部)
十和田市社協 中野渡 (小本サテライト)
おいらせ町社協 館 (小本サテライト)

ボランティアセンター
活動報告

おいらせ町社会福祉協議会
福祉活動専門員 館 幸仁

記録的な大雨で甚大な被害をもたらした「令和」の業務を軽減させる目的で、青森県社会福祉協議会協職員の



2名、
らせ町社協1名、
社員4名 など

センターは、多い時で約400名のボランティア数は、12月22日=129日=43名、27日=76名となっていた。難しい案件や被災者がボランティア

日までお休みとし再開後の1月1

ンション係・マッチング班に分かれ
ディネートを行った。支援活動
震災時から駆け付けた地元ボラ
本であった。ニーズは主に床下

を感じる中での活動支援とな
を抱えながら生活している人
員の業務を軽減する目的で
4回目になった今回も思う
まだ続く活動に「健康に留
は、いつ・どこでおき、
とです。
いていないとせっかくの公
う。



- 岩泉町 (H28,10,1 現在)
- ・人口 9,641 人
 - ・面積 992,36k m²
(本州で最も広い町)
 - ・名所 龍泉洞
 - ・隣接 宮古市・盛岡市・
久慈市・葛巻町など

ニュースで報道された
9人が犠牲になったグル
ープホーム。
ところまで洪水の跡が?!
の



第70回上北郡社会福祉大会開催



第70回上北郡社会福祉大会が、令和2年9月16日、おいらせ町のみなる館ホールで開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、規模を縮小し、表彰だけの内容となりましたが上北郡内から関係者約60名が集まりました。



おいらせ町社会福祉大会は中止に

「～どんな時でも 笑顔あふれる 地域づくりをめざして～」を大会スローガンに2月6日に開催が予定されていた「第15回おいらせ町社会福祉大会」は新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止となりました。

このため、本年度の受賞者については、彰状のお渡しのみとなりました。受賞者は以下のとおりになります。

被表彰者（順不同・敬称略） （表彰の部）

○民生委員児童委員

大槻 勝助
工藤 末三
久保田 良一

○民間社会福祉従事者

駿河 盛
馬場 フミ
在家 真理子
川口 ひとみ
金子 幸子

○民間社会福祉団体役員等

柴田 泰子

○社会福祉従事者

中山 トモ
日野 和子

（感謝の部）

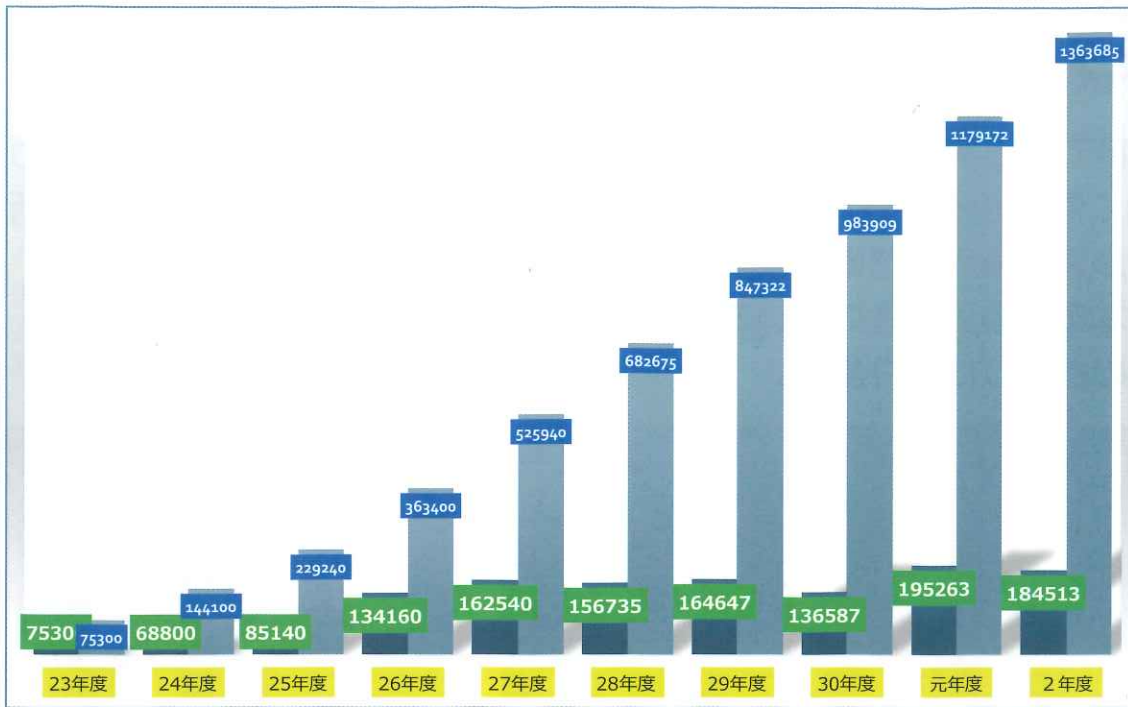
○社会福祉事業共助者

福田 妙子
濤岡 ナホ
沢野 せつ
八重垣 洋子
苦米地 夕ネ
馬場 美智子



第15回おいらせ町社協福祉大会の開催にあたり、町民の皆様、各関係機関やご来賓の方へご協力をいただいておりますが、中止の選択をする事となりました事につきまして、ご理解をいただけますようお願いいたします。

ペットボトルキャップ 収集状況



令和2年度収集実績（学校・団体のみ掲載）令和3年3月12日現在 ※キャップは1kg=430個で計算

あゆみ児童クラブ
3/31~2/22
キャップ170.0kg

**木内々児童センター
ひまわり館**
6/12 キャップ10.5kg

百石小学校
3/12 プルタブ 3.6kg
キャップ16.5kg

木ノ下中学校
9/2 キャップ25.6kg



向山町内会
7/22・11/11・1/22
キャップ142.1kg

百石小学校ボランティア委員長より
今年にはコロナのために委員会活動が思ったようにできませんでした。しかし、ぼくたちは今年の委員会でペットボトルの仕分けを皆で協力し合ってやることができました。
百石小学校 6年 鈴木瑛仁

【編集後記】

新型コロナウイルス感染のニュースが伝えられて約一年、いろいろな大会や事業、お祭りも中止になり「不要不急の外出は×」という事が当たり前のようになられています。半面、対策も皆が解ってきました。ワクチンももうすぐ接種が始まるでしょう。外出は「すべて不要不急」ではなくなります。十分に感染対策をしながら、ご近所や町内各地区での集まりや付き合いを始めていきましよう。高齢者の閉じこもり防止や介護予防などのため、地域でのいきいきサロンもそれぞれが工夫して開催されています。「みんなの顔を見ると元気が出る」と皆言います。地域、町内、隣近所、家族の理解や協力を切にお願いします。

(真石)